

# 山形県連協 NEWS

NO.42 2024年10月

山形県学童保育連絡協議会

住所：山形市三日町二丁目1-17

アパートメント Flat-C

TEL:023-674-9782 FAX:023-674-9783

メール：yamagata-kenren@bz04.plala.or.jp



県連協公式 HP

## 現状を伝えて改善につなげたい！！

～学童保育の現状と課題を伝える活動(議員さんとの懇談会報告)～

学童保育の現状を改善するためには、現場からの声が何よりも不可欠です。県連協では、県選出の国会議員の方及び県議会議員の方々へ懇談を申し入れ、学童保育の現状と課題を共有する場を設けています。

議員の方々に現状をご理解いただき、一緒に考えていただくことで、県政及び国政に現場の声が反映され改善が図れることにつながることを願っています。今年度も下記のように懇談会を実施しております。

議員の皆さんは、学童保育に大きな関心を寄せてくださっています。今回の懇談の中でもたくさんの質問やご意見をいただきました。さらにまだ懇談していない県議の方々や、県選出の国会議員の皆様とも懇談できるよう日程を調整していきたいと考えています。

各市町村においても、議会や地域の学童保育関係者の皆さんと積極的な対話や懇談を行ない、現状を知らせていただくようお願いします。県連協もいっしょに頑張りたいと思います。

### 【国会議員】

#### 9/5 芳賀道也参議院議員との懇談

こども家庭庁に向けて全国学童保育連絡協議会が提出した要望(※1)や、県内学童保育の現状について懇談させていただきました。

※1 基準を「参酌基準」から「従うべき基準」に。・基準の改善・拡充。・国の補助率引上げ。支援員の資格制度の創設等について活発な意見交換がありました。

### 【山形県議会議員】

#### 8/21 県政クラブの議員の方々との学習会

出席：青木彰榮議員・阿部ひとみ議員・江口暢子議員・松井愛議員・橋本彩子議員・齋藤俊一郎議員

※2 県内学童保育の現状と各市町村で違いがある「学童保育施策」等の課題について懇談し、「待機児童問題」など活発な意見交換がありました。

#### 9/25 自由民主党学童保育議員連盟(森谷仙一郎会長)の議員の方々との

#### 学習会および意見交換会

出席：森田廣議員・船山現人議員・伊藤重成議員・奥山誠治議員・森谷仙一郎議員・  
渋間佳寿美議員・能登淳一議員・高橋弓嗣議員・石塚慶議員  
(こども成育支援課長も出席)

※2 県内学童保育の現状と各市町村で違いがある「学童保育施策」等の課題について懇談し、「配慮の必要な児童の受入れや対応」など活発な意見交換がありました。

懇談の際には、各学童保育に協力いただいている実態調査や市町村アンケートをもとに資料を作成し現状を伝えています。  
(内容については上記※1・2参照)



# 『第45回山形県学童保育研究集会』を開催します

下記日程で第45回山形県学童保育研究集会が天童市の天童市総合福祉センター・天童中部公民館で開催されます。今回は5年ぶりの完全現地開催、アフターコロナで久しぶりの対面での研究集会です。皆さんとの学び合いが更に深まり、より良い保育に繋がりますようにと願っております。

12月1日、天童市でお会いしましょう。

◇日 程 12月1日(日) 9:15(受付開始)～16:15(終了)

◇基調報告 『山形県の学童保育の現状と課題』



千葉 智生 氏 (全国学童保育連絡協議会 事務局)

◇全体講演 『子育てハッピーアドバイス～小学生のところに寄り添って～(仮題)』

講師 明橋 大二 氏 (真生会富山病院心療内科部長)

第一分科会	指導員の専門性ってなんだろう～保護者とともに考える～ 講師:神奈川県横須賀市指導員 飛鳥井 祐貴 氏
第二分科会	いまどきのこどもたち～家庭・学校・学童保育・地域で～ 講師:聖和学園短期大学 小森谷 一郎 氏
第三分科会	こどもの育ちに欠かせない「大人がつながる子育て」 助言&進行 山形県学童保育連絡協議会役員など
第四分科会	すべての人に届けたいアンガーマネジメント ～思いが伝わる叱り方で子育てをもっと楽しく～ 講師:(一社)日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントチーフファシリテーター 山形県家庭教育アドバイザー 須藤 好子 氏(元養護教諭)
第五分科会	学童保育の現状と課題～より良い学童保育をめざして～ 講師:全国学童保育連絡協議会 事務局 千葉 智生 氏

\*手続きの都合上、11月8日(金)以降のキャンセルは返金できませんのでご了承ください。

◇申込に関するお問合せ先

【リーフレットをご覧ください】

一般社団法人天童市放課後児童クラブ連絡協議会  
(天童市本町1-1-2パルテ内)

TEL:023-664-2300

FAX:023-679-3880

MAIL:tendou.shi@rose.plala.or.jp

\*詳しくは送付済のリーフレットをご覧ください。



# 明日の学童保育につなげる

11月16日～17日に開催される『第59回全国学童保育研究集会』がいよいよ近づいてきました。10月9日の参加申込締め切り日の時点での全体参加者数は、46都道府県より4425人に上っています。また、山形県からは、257人の参加申込になりました。その内、28名の方が現地(岡山県倉敷市)で参加します。コロナ禍の中で数年間オンラインでの参加が続いていましたが、「今回はぜひ現地で全国研を味わいたい」と手を挙げていただきました。

全国研は、全国の方と子どもをまん中に学童保育について学び、交流できる絶好の機会です。全国研での経験が明日の学童保育へつながるよう願っています。

「現地参加者について、当日参加申込を受け付ける」と、全国学童保育連絡協議会より連絡が入りました。現地参加のみの申込み受付ですが、ご希望の方は、山形県学童保育連絡協議会へ問い合わせてください。

# 全国研が山形で開催

～第61回全国学童保育研究集会 IN 山形開催が決定しました～

10月14日東京で行われた「2024年度全国学童保育連絡協議会定例総会」において、2026年秋に山形にて「第61回全国学童保育研究集会」が開催することについて提案され、可決されました。

このことを受け、山形県学童保育連絡協議会会長元木朗博氏より「山形県は、大都市もなく、交通の便も良いとはいいがたいですが、山形県を流れる最上川にちなみ「最上(さいじょう)の全国研を目指し、そして、次の開催地に立候補したくなるような全国研の開催を目指して頑張ります。」と、あいさつをされました。

山形県学童保育連絡協議会は、2026年秋の開催を目指して、いよいよ具体的な準備を進めるとともに、県内の方はもとより全国の方からも多く参加していただけるよう積極的な声かけを行っていきたいと考えています。学童保育関係者の協力が大きなエネルギーとなります。

「やってよかった全国研！」となるよう力を合わせがんばりましょう。



## 2024年度 第2回 山形県放課後児童クラブ指導員研修会 開催報告

10月3日(木)、オンラインにて「2024年度第2回放課後児童クラブ指導員研修会」を開催いたしました。年間テーマとして「学童保育の役割と指導員の仕事」としており、この度は『保育記録の必要性～日々の記録から見える子どもの姿～』と題し、講師に門田弘之先生(岩手県滝沢市巣子学童クラブ第一指導員)をお招きし、保育記録の大切さをご講義いただきました。

山形県から後援と各市町村へ案内をして頂き、536名と多くの方に参加いただくことができました。

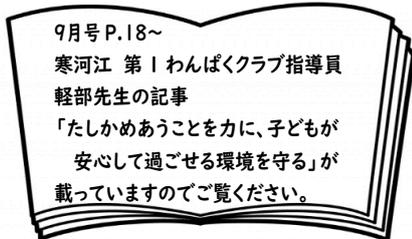
次回は、12月もしくは1月に開催予定です。多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

市町村別参加者人数		
山形 97名	酒田 6名	山辺 5名
天童 104名	新庄 4名	大江 9名
村山 30名	南陽 33名	中山 21名
東根 68名	長井 9名	高畠 5名
鶴岡 52名	庄内 10名	小国 6名
米沢 36名	遊佐 4名	川西 3名
寒河江 29名	鮎川 5名	合計 536名

# ほいく誌を読む会 カフェ HOIKUSHI ござ〜れ

今年度は夜の開催を7回予定しており、その3回目となる8月のござ〜れは、初の置賜地方へ!!ということで8月24日(土)米沢市(ホテルMontビュー米沢)にて居酒屋ござ〜れを開催しました。当日は、参加者19名と『子どものけんか・言葉・気持ち』をテーマに、ほいく誌や東北指導員学校の(第9分科会:子どもことば)資料を読み合いながら、子どもたちが思っている言葉の意味のとらえ方や漫画・YouTubeといった子どもを取り巻く環境のことにについて交流しました。

参加された保護者・運営関係者・指導員の皆さんから家庭での様子や各クラブの情報を交えながら、笑いあり、うなずきありの尽きない話が続き大変盛り上がった会となりました。



9月号P.18〜

寒河江 第1わんぱくクラブ指導員  
軽部先生の記事

「たしかめあうことを力に、子どもが  
安心して過ごせる環境を守る」が  
載っていますのでご覧ください。

夜開催4回目は、先月9月18日(水)『学童保育の生活—子どもの人数を考える』をテーマにオンラインで開催しました。子どもが安心してのびのび通える環境を整えることの大切さや集団の規模について各クラブの実態をもとに交流しました。

最近のござ〜れは、鶴岡〜米沢まで各地域の学童関係者が画面の前や会場に集まり、特集テーマに添った悩み・思いを語り合っています。

次回のテーマは『子ども・保護者と共に歩む学童保育』です。参加してみたいけど…一人で参加はちょっと…という方いませんか?心配ありません!みんな“学童保育の仲間”です。ぜひ、気になるテーマがありましたら参加をお待ちしております。今後の予定につきましては、県連協HPをチェック!今年度の年間計画をUPしております。

居酒屋ござ〜れも  
ありますよ(^^)

連載企画



## おら保ば知ってけろ



### 第3回 天童市 干布小学校区学童保育「干布ひまわり児童クラブ」

干布ひまわり児童クラブは、平成18年に干布公民館の管理室にて干布児童クラブとして開所し、平成27年に専用施設が完成しました。運営は公設民営で、地域運営をしています。現在は、1年生から6年生までの60名の児童と、常勤3名、非常勤6名、事務員1名で毎日元気いっぱい過ごしています。

昨年の12月に施設の増築工事をしていただき、70名規模の施設でのびのびと過ごしています。増築工事前は、56名の児童が入所しており、天童市より小学校の体育館ギャラリーに間仕切り内を整備していただき、小学校より借用しながら既存施設とギャラリー間仕切り内にて分散保育を行いました。学年ごとや、異学年に分かれて過ごし、夕方には既存施設の児童と合同する、という生活が1年8か月続きました。

また、隣接する公民館の建て替え工事が重なり、既存施設から歩いて1分もかからないで遊びに行けていた小学校グラウンドにも、道が塞がり15分かけて歩いて遊びに行く日が続きました。そんな苦難を乗り越え、たくましく成長した子どもたちは、現在の広々とした施設で、待機児童を出すことなく、のびのびと過ごすことができます。

最近では、隣接する公民館で地域の方が集まるカフェに交流させていただいたり、放課後子ども教室が開催され、春から夏にかけて、紅花の

植え、花摘み、紅花を使った料理教室に子どもたちが参加しました。種から育てた紅花を使って、60人分の昼食づくりは、紅花料理を知る大変貴重な経験となりました。

これからも、地域の方々に見守られながら、子ども達が過ごしやすいような環境を整え、子どもたちの安心・安全を守るために私たちは今何が出来るかを考えながら生活づくりを考えていきたいと思ひます。

